

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

南箕輪村長

市町村名 (市町村コード)	南箕輪村 (385)
地域名 (地域内農業集落名)	北原地区 (北原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年11月28日

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化が進んでおり、将来の担い手不足が懸念される。農業者の所得があまり高くない傾向にあることもその一因と考えられる。また、農地を手放したい地権者も多く、今後の農地の維持管理が課題となってくる。また、石が土壤に多く含まれている農地が多く耕作条件が悪い土地が多いほか、一筆毎の面積がせまい農地も多いため、集積や集約化を行うには多数の地権者と調整をしなければならず効率の良い農業経営には至っていない。その他、有害鳥獣による農作物の被害も比較的多い地域である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

農地の受け手と貸し手・売り手のマッチングを容易にし、農地の有効利用を進めて行くことが必要である。また、そのためには、農作物毎に圃地化を行ったり、必要に応じて圃場整備などを行い、既存の法人や大型農家等に集積・集約しやすい環境を整えていくことが理想である。また、土壤にある石の除去等については、関係機関との協議も行いながら改善できる方法を模索していくことが望ましい。その他、農業者の所得改善のため、補助制度の創設などについて関係機関と協議などを行っていくほか、有害鳥獣対策に関しては、村鳥獣被害対策実施隊などの専門家と連携して対応を行っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	47 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	47 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

北原地区の農業振興地域内を地域計画のエリアとして選定する。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して農地交換などを進めて行き、農地の集積や集約化を図っていく。そのためには、農地の受け手と貸し手・売り手のマッチングを容易にして、農地を交換しやすい体制を構築することが望ましい。また、必要に応じて圃場整備や作物毎の団地化を行い、集積・集約化しやすい環境を整えていくことが理想である。
(2)農地中間管理機構の活用方針
認定農業者等地域計画の担い手として名簿に記載のある農家の方については、原則として農地中管理機構を活用して賃貸借契約等を締結していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
必要に応じて基盤整備等について関係機関と協議をしていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
農業者の所得改善のため、独自の補助制度の創設など、関係機関等と協議をおこなっていくことが望ましい。また、農地の集積・集約化を推進し、既存の法人や大型農家等に土地を耕作してもらう環境を整えていくことが理想である。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
担い手が将来に渡って不足していくことが確実なため、農事組合法人まっくんファーム等、法人への委託などを有効に活用して農地を維持していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①有害鳥獣による農作物被害に対しては、村鳥獣被害対策実施隊などの専門家と連携して対応を行っていく。
- ⑦土壌に石が含まれており耕作条件が悪い農地が多いため、石の除去について関係機関と協議しながら解決策を模索していくことが望ましい。
- ⑨既存の農業者団体等の活性化や交流会の開催により、農業者同士の繋がりを強くしていく。